



パピルス v402のアップデートの方法

【パピルス】 Windows版・Macintosh版

作成者：株式会社クレッシェンド

2018年3月15日

バージョン: 4.0.2

❖はじめに

いつも【パピルス】をご利用いただきましてありがとうございます。【パピルス】のバージョンアップに伴い、一部機能の修正および改善を行いました。大変ご面倒をおかけして申し訳ございませんが、以下の方法で最新版【パピルス】v402へアップデートしてください。（v402とはバージョン（Version）4.0.2のことです。）

❖ご注意点

今回の【パピルス】v402は、最新の機能に置き換えるため、仕様に一部変更があります。

アップデートをご利用いただけるユーザと【パピルス】のバージョン

【パピルス】v2.0.0、からv4.0.0までのご利用のユーザ様が対象です。

❖動作環境

MacOS X10.11 El Capitan

- 64-bit Intel Core 2 Duo プロセッサを搭載した Mac
- 2 GB の RAM、4 GB 推奨、1024 x 768 以上の解像度のビデオアダプタとディスプレイ
- DVD ドライブ（パッケージ製品の場合）

MacOS X10.10 Yosemite

- 64-bit Intel Core 2 Duo プロセッサを搭載した Mac
- 2 GB の RAM、4 GB 推奨、1024 x 768 以上の解像度のビデオアダプタとディスプレイ
- DVD ドライブ（パッケージ製品の場合）

MacOS X10.9 Mavericks

- 64-bit Intel Core 2 Duo プロセッサを搭載した Mac
- 2 GB の RAM、4 GB 推奨、1024 x 768 以上の解像度のビデオアダプタとディスプレイ
- DVD ドライブ（パッケージ製品の場合）

※動作条件が変更され、Mac OS 10.6.8以前でのレプタ 2 の動作はできません。ご注意ください。

Windows 10

- 1GHz 以上のプロセッサ
- 1 GB の RAM、2 GB 推奨
- 1024 x 768 以上の解像度のビデオアダプタとディスプレイ
- DVD ドライブ（パッケージ製品の場合）

Windows 8.1 、 Windows 8.1 Pro

- 1GHz 以上のプロセッサ
- 1 GB の RAM、2 GB 推奨
- 1024 x 768 以上の解像度のビデオアダプタとディスプレイ

- DVD ドライブ (パッケージ製品の場合)

Windows 8、Windows 8 Pro

- 1GHz 以上のプロセッサ
- 1 GB の RAM、2 GB 推奨
- 1024 x 768 以上の解像度のビデオアダプタとディスプレイ
- DVD ドライブ (パッケージ製品の場合)

Windows 7 Ultimate、Professional、Home Premium *

- 1GHz 以上のプロセッサ
- 1 GB の RAM、2 GB 推奨
- 1024 x 768 以上の解像度のビデオアダプタとディスプレイ
- DVD ドライブ (パッケージ製品の場合)

*上記動作環境であっても、必ずしも満足の行く作業が行なえない場合もあります。予めご理解ください。

❖修正・機能追加の箇所

v402での修正点

Windows 10のインストーラの改善
Webリンクの修正

v400での修正点

MacOS X10.10 Yosemite MacOS X10.11 El Capitanに対応しました。
Windows10に対応しました。

v350での修正点

Windows 8.1・Macintosh OSX 10.9 (Mavericks) に対応しました。

v300での修正点

Windows 8・Macintosh OSX 10.8.x(Mountain Lion)に対応しました。

Ver3からは、ファイル形式が変更になったため、そのままではVer2のファイルは使用出来ません。

【メニューバー】>【ファイル】>【バックアップからの復元】を選択することで、Ver2のファイルを変換することができます。

ご注意：Ver2で作成されたバックアップファイルを、新しい【パピルス】にコピーしてから取り込みます。
詳細は後述。

v250での修正点

【パピルス】v250では、Macintosh OSX 10.7.x(Lion)に対応しました。

Windows XP Vista 7でご利用中の方は、変更はありませんが、動作基盤を改善しました。

今後のアップデートに備え、アップデートしてください。

❖ 【パピルス】 v402へのアップデートの方法

【パピルス】 v402へのアップデートする前に、バックアップをとってください。
バックアップすることで、アップデート中に問題が発生したとしても、復元できる可能性を残すことができます。

❖バックアップ作業

【パピルス】全体のバックアップ

念のため、【パピルス】フォルダーを右クリックして【コピー】を選択後、デスクトップに【貼り付け】ます。
【パピルス】は以下のディレクトリにあります。

Windows XPの場合	:	マイドキュメント▷【パピルス】
Windows Vistaの場合	:	ドキュメント▷【パピルス】
Windows 7の場合	:	ドキュメント▷【パピルス】
Windows 8の場合	:	ドキュメント▷【パピルス】
Macintoshの場合	:	書類▷【パピルス】

上記のディレクトリにある、【パピルス】フォルダーをデスクトップにコピーするかUSBメモリースティックなどに保存してください。万が一、【パピルス】のアップデートに失敗したときに備えて、必ずバックアップをお願いします。

❖アンインストール作業

古いバージョンの【パピルス】を削除します。

Windowsの場合

- 1、コンピューターの【スタート】をクリックして【コントロールパネル】を選択します。
- 2、【コントロールパネル】内の【プログラムと機能】をダブルクリックします。
- 3、【パピルス】と書かれた項目を選択して、【削除】または、【アンインストール】をクリックします。
- 4、アンインストールを実行するかを問うアラート画面が現れますので、【OK】をクリックします。
- 5、アンインストールが実行され、【パピルス】が削除されます。

Macintoshの場合

書類▷【パピルス】フォルダーをゴミ箱に移動します。
ゴミ箱を右クリックして、【ゴミ箱を空にする】を実行します。

❖インストール作業

新しいバージョンの【パピルス】 v402をインストール

- 1、インストーラをダブルクリックして【パピルス】をインストールします。
(弊社HPよりダウンロードした場合のファイル名称は【P_Update402_Win】・【P_Update402_Mac】となります。
※ファイル名称の後に拡張子がついている場合もあります。)
- 2、インストール後、【パピルス】を起動します。パスワードを要求されたら製品付属のパスワードを入力します。
(最新版の【パピルス】にアップデートされた場合、メニューバーの【パピルスについて】のバージョン表示が【Ver4.0.2】になります。)

❖データの復元作業

データを復元する

一旦【パピルス】を終了してください。

- 1、デスクトップにあるバックアップした【パピルス】フォルダーの中の【Papyrus.USR】を右クリックしてコピーを選択します。
- 2、マイドキュメントに新しく作成されている【パピルス】フォルダー内の【_Backup】フォルダーを開きます。
- 3、ここでマウスを右クリックして【貼り付け】を選択します。

【Papyrus.USR】を上書きするかを聞いて来る場合もあります。バックアップデータを入れ替えるためOKします。(必ず、この【_Backup】フォルダーに入れてください)

- 4、新しい【パピルス】を起動します。
- 5、データ登録画面を開きます。

(まだ何も復元されていません。)

- 6、【メニューバー】から、【ファイル】と書かれたメニューから【バックアップからの復元】を選択します。
- 7、データの復元を行う前に、【_Backup】フォルダーに【Papyrus.USR】が置かれているかを確認する画面が表示されますので、OKをクリックして先に進めます。

Ver2からの復元の場合、始めにファイルの変換が行われ、その後、復元が実行されます。

- 8、データの復元を終えたことを知らせる画面が表示されます。
- 9、データを確認してください。

❖作業完了

以上で作業完了です。データなどに不備がないかを確認してください。
お手数をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

❖このアップデートがインストーラとなります

この最新版アップデートが今後の【パピルス】のインストーラとなります。インターネットで弊社HPよりダウンロードされた方は、このインストーラをCD-Rなどに焼いて保存しておくことをお勧めします。今後、PCなどを変更した場合などで【パピルス】のインストールが必要になった場合、このアップデートを使ってインストールしてください。

❖マニュアルへの追加

v402での追加事項

マニュアルの追加事項はありません。

v400での追加事項

マニュアルの追加事項はありません。

v350での追加事項

マニュアルの追加事項はありません。

v300での追加事項

Windows 8・MacOS10.8 Mountain Lionに対応しました。

【バックアップの作成】と【バックアップからの復元】の仕様変更しました。

Ver3からは作成されたバックアップファイルは【_Backup】に【Papyrus.USR】というファイル名称で作成されるように変更となりました。

また、バックアップからの復元は、ファイルの移動なしに行えます。

v250での追加事項

【パピルス】v250には、新しいマニュアルが付属しています。

インストール後に、【書類】>【パピルス】内に、【パピルス取扱説明書】がPDFで提供されます。

こちらをご覧ください。

今後とも【パピルス】をご利用頂けますようよろしくお願い致します。